

蔵王山の火山活動解説資料（平成28年11月）

仙台管区气象台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はありませんでした。
蔵王山では、2013年から2015年にかけて火山活動の高まりがみられました。その後も火山性地震や火山性微動が時々発生していますので、今後の火山活動の推移に注意してください。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1、図2-①）

遠刈田温泉に設置している遠望カメラによる観測では、先月に引き続き丸山沢で最高200mの噴気を確認し、これまでと比較して噴気を観測した日数が多くなりました。

遠刈田温泉及び上山金谷に設置している遠望カメラ並びに刈田岳に設置している火口カメラによる観測では、御釜付近の異常は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図2-②③、図3）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

2013年以降、御釜の東から南東数km付近、深さ20～30km前後を震源とする深部低周波地震がやや増加しています。

・ 地殻変動（図2-④、図4、図6）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区气象台のホームページ（<http://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成28年12月分）は平成29年1月12日に発表する予定です。
この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータを利用して作成しています。本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」を使用しています（承認番号 平26情使、第578号）。



図 1 蔵王山 山頂部の状況 (11 月 7 日)

- ・ 左上図：遠刈田温泉 (山頂の東約 13km) に設置している遠望カメラの映像です。
赤丸実線で囲んだ部分が丸山沢からの噴気で、高さ 200m です。
※丸山沢からの噴気は、高さ 100m 以上のときに遠刈田温泉遠望カメラで観測されます。
 - ・ 右上図：上山金谷 (山頂の西約 13km) に設置している遠望カメラの映像です。
 - ・ 左下図：刈田岳 (御釜の南約 800m) に設置している火口カメラの映像です。
- 注) 御釜から噴気が噴出した場合、遠刈田温泉及び上山金谷では高さ 200m 以上のときに観測されます。
点線赤丸が御釜の位置を示します。

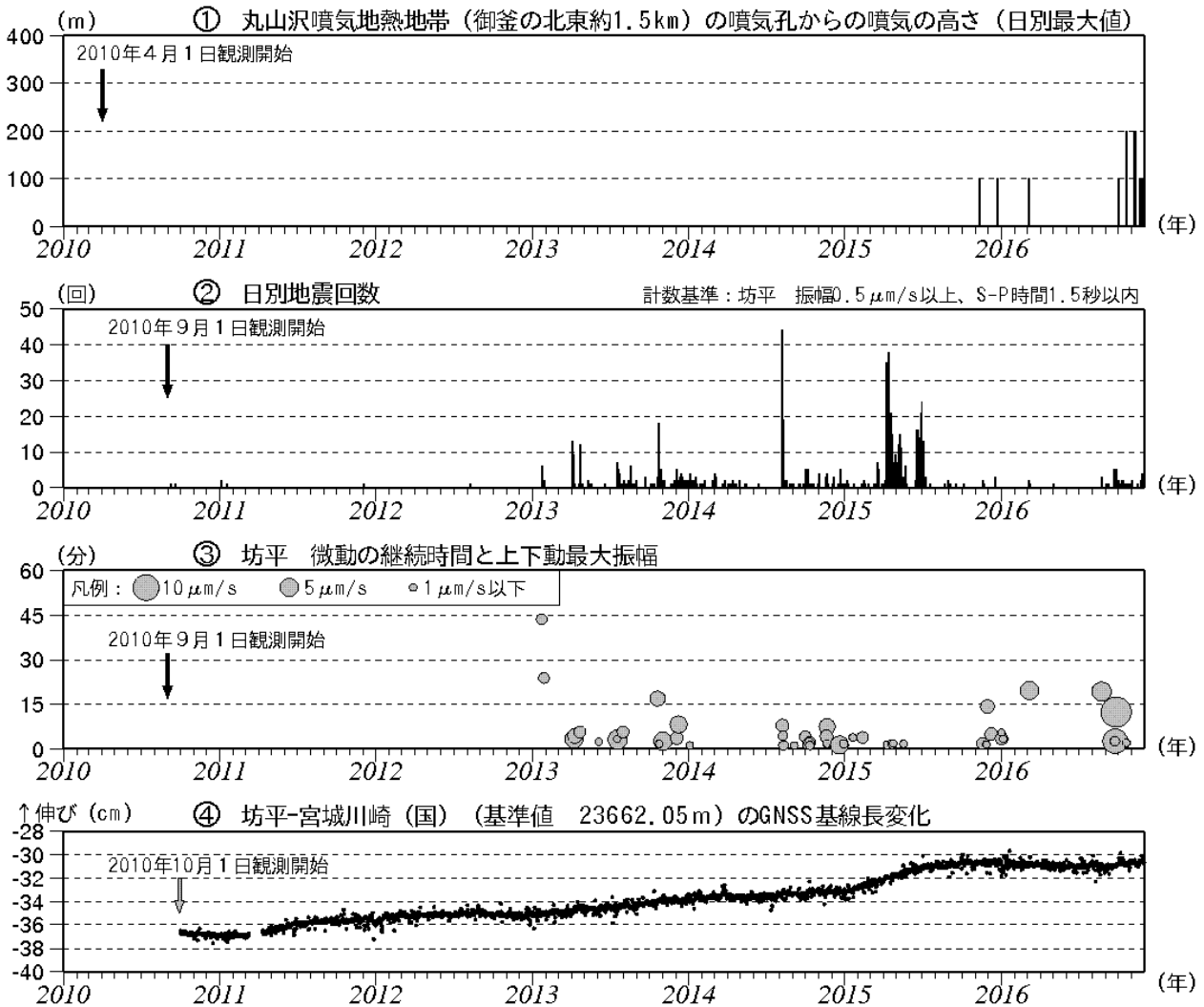


図2 蔵王山 火山活動経過図（2010年4月～2016年11月）

- ・④は図6のGNSS¹⁾基線①に対応しています。
- 1) GNSSとはGlobal Navigation Satellite Systemsの略称で、GPSをはじめとする衛星測位システム全般を示します。
- ・2014年10月から2015年6月頃にかけて、山体のわずかな膨張を示す地殻変動が観測されており、2015年4月から2015年6月頃にかけて地震回数の増加がみられました。

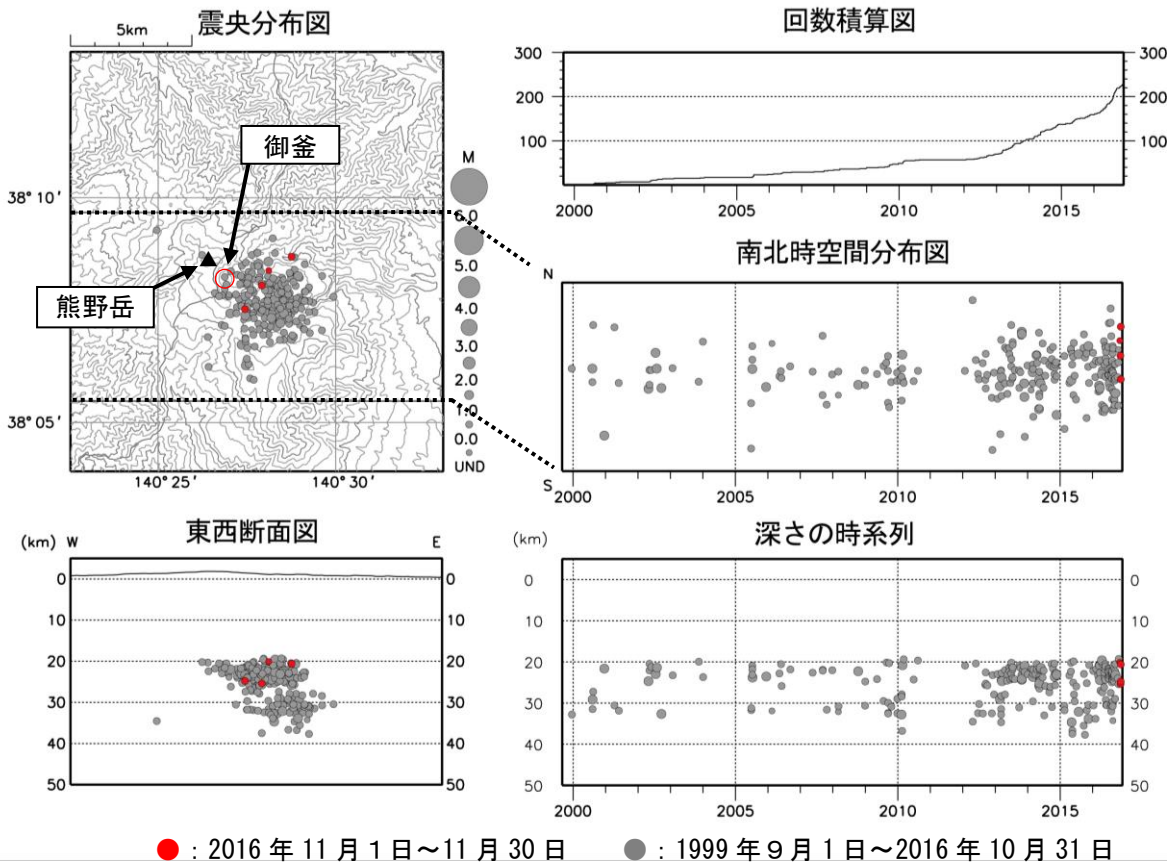


図3 蔵王山 広域地震観測網による深部低周波地震活動（1999年9月～2016年11月）

注）2001年10月以降、検知能力が向上しています。

- ・2013年頃から、深部低周波地震の増加がみられます。特に、深さ20～30km付近の地震がやや増加しています。

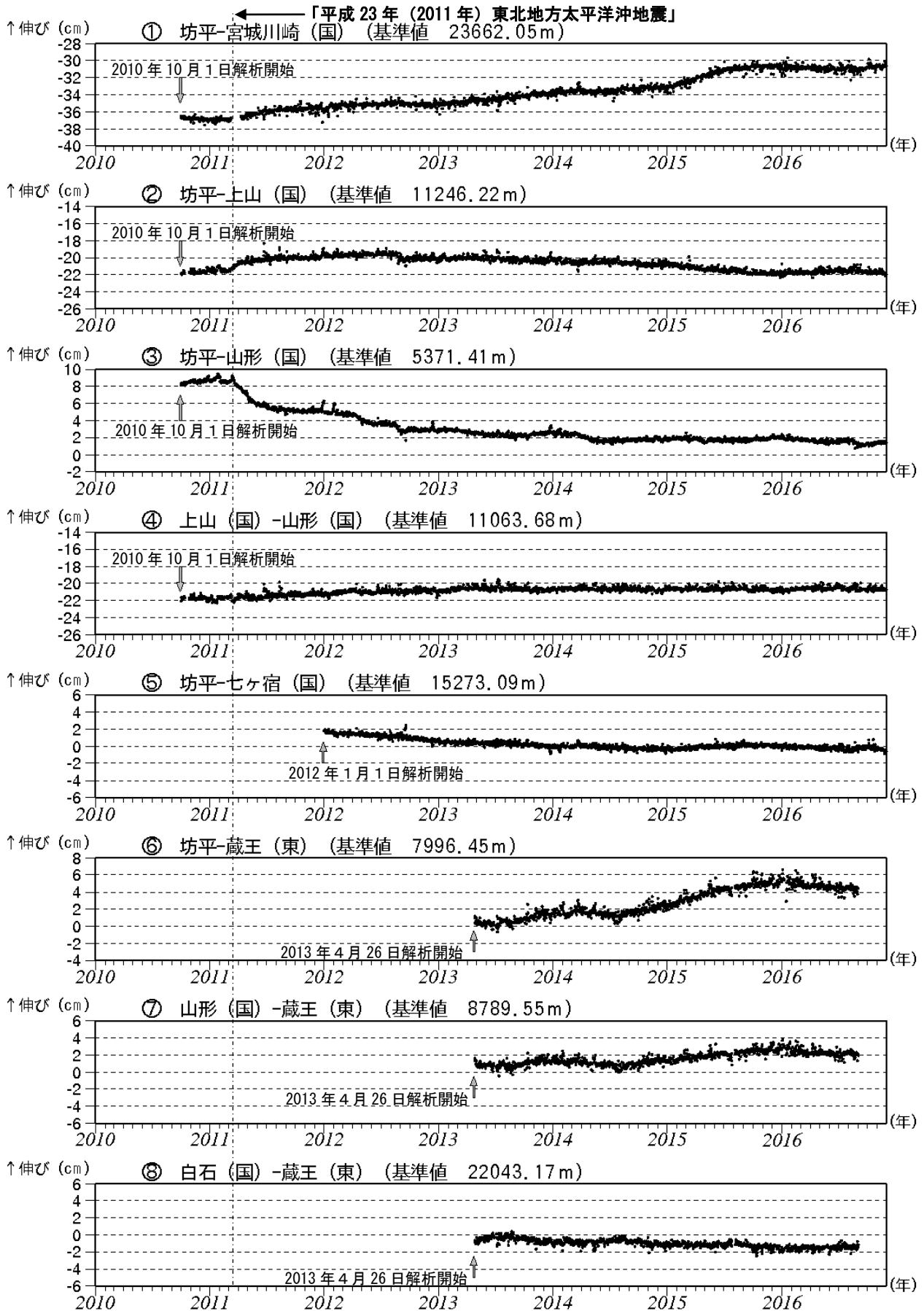


図 4-1 蔵王山 GNSS 基線長変化図 (2010 年 10 月～2016 年 11 月)

- ・ 「平成 23 年 (2011 年) 東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・ ①～⑧は図 6 の GNSS 基線①～⑧に対応しています。・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
- ・ 東北大学の基線で解析遅れがあります。
- ・ (国) は国土地理院、(東) は東北大学の観測点を示します。

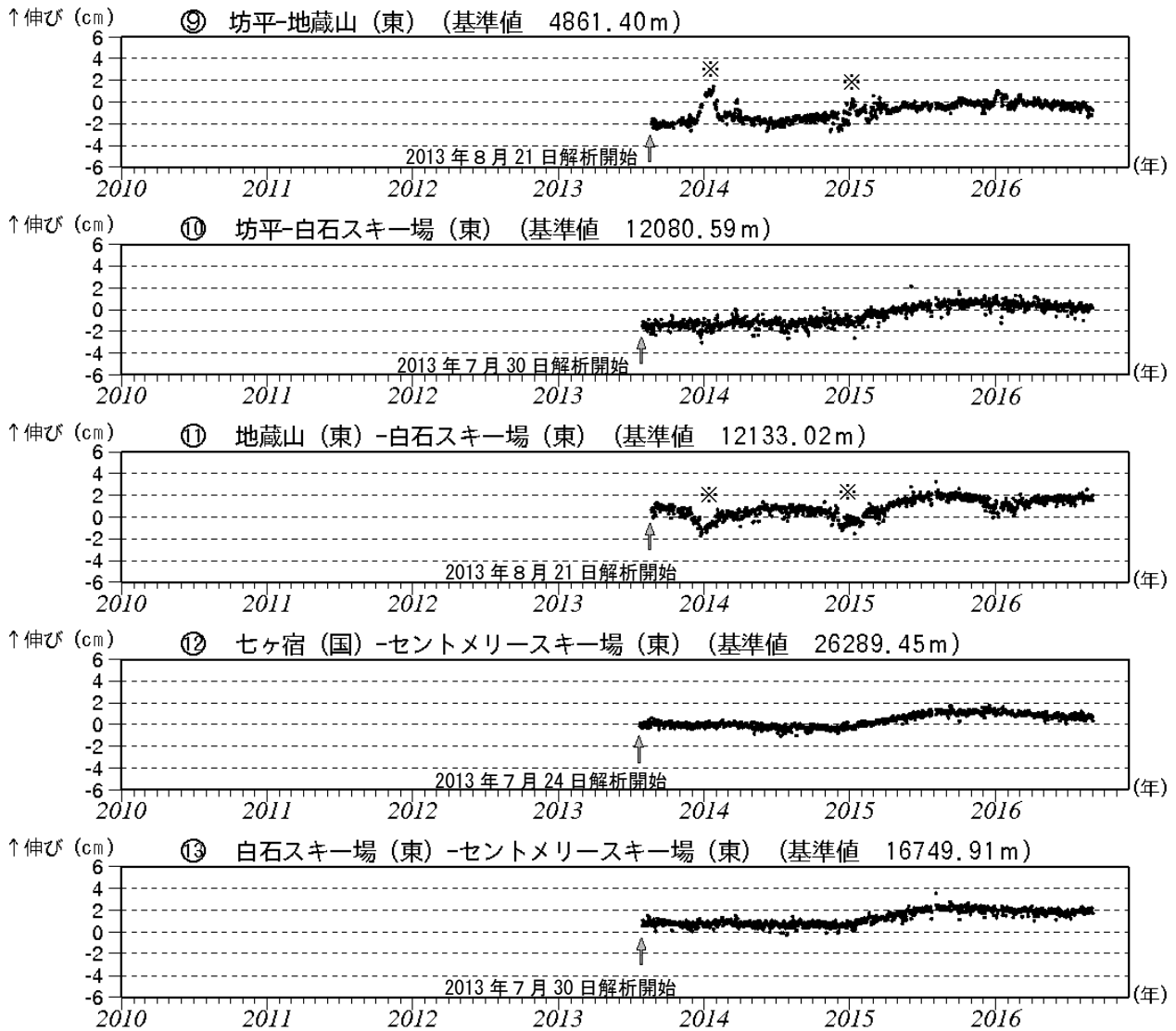


図 4-2 蔵王山 GNSS 基線長変化図 (2010 年 10 月~2016 年 11 月)

- ・ ⑨~⑬は図 6 の GNSS 基線⑨~⑬に対応しています。
 - ・ グラフの空白部分は欠測を表しています。
 - ・ 各基線の基準値は補正等により変更する場合があります。
 - ・ 東北大学の基線で解析遅れがあります。
 - ・ (国)は国土地理院、(東)は東北大学の観測点を示します。
- ※地藏山 (東) では、着雪による変化がみられます。

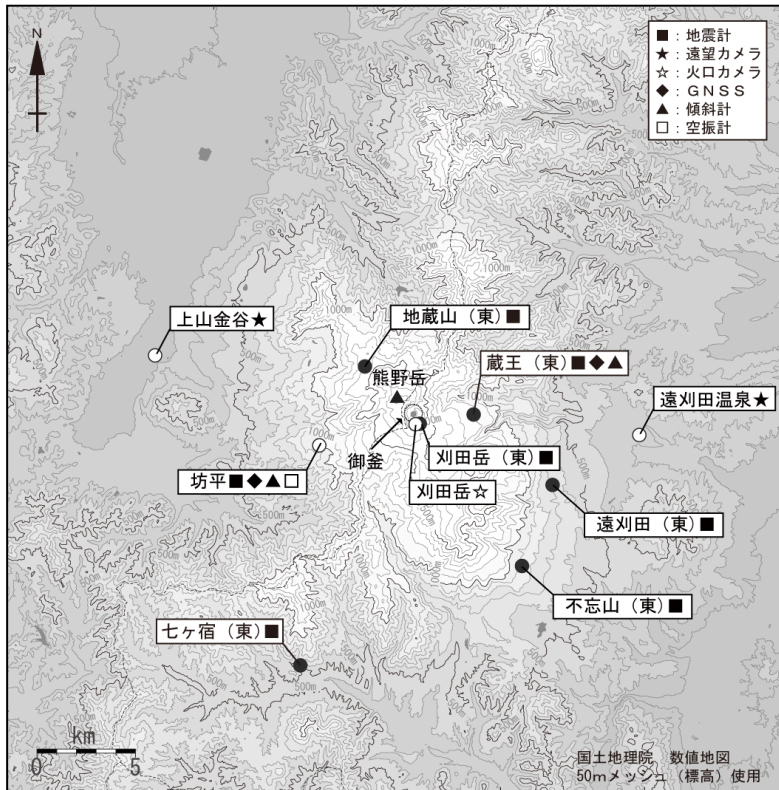


図5 蔵王山 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (東) : 東北大学

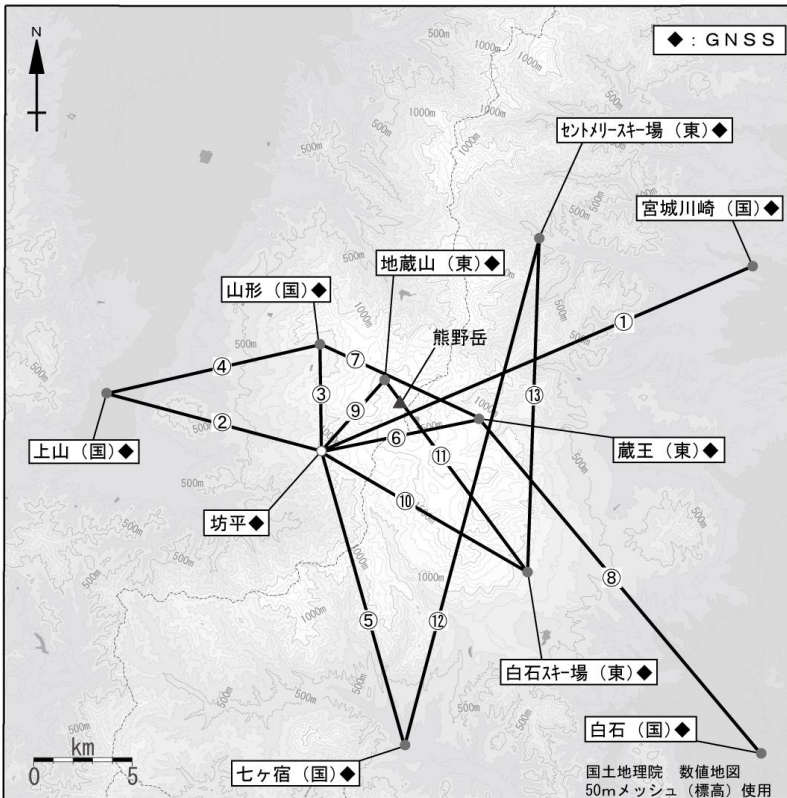


図6 蔵王山 GNSS 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
 (国) : 国土地理院 (東) : 東北大学